

平28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	しなの米ブランド化プロジェクト
事業主体 (連絡先)	信濃町役場産業観光課 農林畜産係 026-255-3113
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する業務 農村の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	965,987円 (うち支援金: 724,000円)

事業内容

信濃町内でお米を栽培する農家を参加者として募集し、信濃町お米のコンクールを開催した。コンクールでは参加者から出品米を提出して頂き、一次審査(食味測定器による審査)と二次審査(食味審査)を行い、あきたこまち・コシヒカリ各上位3位のお米を「朝米・夜米」パッケージで販売した。
また、お土産・ギフト商品としての強化をするにワークショップを開催し、住民の意見を取り入れたものとした。



【信濃町お米のコンクール二次審査】

【目標・ねらい】

- ①米の品質向上に対する意識改革
- ②信濃町産のお米の認知度向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①信濃町お米のコンクールを開催した結果、出品された農家より29年度もコンクールの開催依頼がきており、農家のお米に対する品質向上に対する意識改革が出来た。

②信濃町お米のコンクールを開催することで、審査員に信濃町のお米の美味しさを認識して頂けた。
また、受賞米をパッケージ化し販売することで信濃町産のお米の認知度向上ができた。

※自己評価【C】

【理由】

参加農家の意識改革は出来たが、町内全体に対しては難しく、出品者も予定より少なかった。募集方法を工夫する必要がある。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

お米農家の品質向上に対する意識をより高める為、継続して信濃町お米のコンクールの開催に取り組みたい。また、パッケージ化したお米を信濃町産のお米として次年度もPR活動に使用していきます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある